

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 保健衛生部健康推進課保健係
 問合せ先 03 - 5803 - 1229

3年度調査

1 補助金の名称等

補助金の名称	がん患者ウィッグ購入等費用助成金								
根拠規定等	文京区がん患者ウィッグ購入等費用助成事業実施要綱								
創設年月	令和	2	年	5	月	経過年数 〔自動計算〕	1年	終了予定年月	
見直し年月	令和	3	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	1年		
見直しの内容	購入のほか定額制も対象とし、名称に等を追記。								
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号			
	6 衛生費	1 保健衛生費	3 保健予防事業費	11 がん検診	9 がん対策関係費	104			
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

2 補助金の概要

補助目的	がん患者に対し、ウィッグの購入等費用の一部を助成することにより、治療に伴う脱毛等の外見変化が及ぼす精神的苦痛の軽減及び経済的負担の軽減を図る。						
補助事業等の内容	(1) 対象者 文京区在住でがんと診断され治療を行い、ウィッグを購入等した日から1年以内の方 (2) 定員 100名(予算上限) (3) 助成金額 ウィッグ購入等費用 1人1回						
補助対象経費の内容	がんと診断され治療を行い、抗がん剤の副作用による脱毛のために購入等するウィッグの費用						
補助事業者等	<input checked="" type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕						
補助金の算出	<input checked="" type="checkbox"/> 定率 { 補助率 1/2(上限あり) } <input type="checkbox"/> 定額 { 補助額 }						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 { 補助単価 単位 } <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕 上限3万円、または購入等経費の5割のうち、いずれか低い額 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕						
公募の状況	ホームページ、区報、チラシ、ポスターにより周知する。						
実績報告書時における 用途の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他 ()						
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独 <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		負担割合	区	国	都	補助対象者
			上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	0	0	73	100
決算(予算)額	0	0	2,018	3,000
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	0	0	2,018	3,000
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	-	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	-	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	-	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	がん患者へのウィッグ購入費用の一部を助成することで、本人の経済的負担の軽減が図れた。
課題	事業開始年度であったため、助成件数が73件と当初の想定より少なかった。 がん患者の方へ事業を知ってもらえる周知方法について工夫していく。
今後の方向性	がん患者に事業を知ってもらうため、区報1面への記載やCATV番組の活用など、周知方法に工夫をして申請件数の増加を目指す。